



大 船 山

ホームページアドレス https://www.city.ena.lg.jp/enaschoolnetwork/e/kamiyahagi_1/index.html

第8号

令和7年10月27日

がんばった取組、やりきった本番、そして次の挑戦へ

校長 高橋 かおり

「楽しかった!」

キッズソーランを終えて団席に戻ってくるなり1年生の子が言った言葉です。汗だくで真っ赤な顔。キラキラと輝く瞳。おいしそうに水筒のお茶を飲みました。運動会に向けて、演技も競技もたくさん練習してきました。もう踊れるようになった本番前日にも「もっと動きを大きくして、格好よく踊るために」と、2、3年生にアドバイスをもらいながら手の動きを練習していました。練習でどんなに疲れていても、授業や掃除など他の活動のときには切り替えて、集中して取り組んできました。本物の「楽しい」とは、こういうことなのでしょう。誰かや何かに楽しませてもらうのも楽しいですが、自分で、仲間と、全力で取り組み、やりきったから味わえる「楽しい」は格別です。



「僕はクラスの副リーダーに挑戦したいです。1学期も挑戦して、なれなかったけど、やっぱり挑戦したいです。(中略)呼びかけや指示ができるようになってきました。大変だけど、やりがいや楽しさの方が大きいです。」

スピーチ集会で、5年生の子が堂々と話しました。一度挑戦してできなかったことへの挑戦は、勇気のいることです。しかも、決して簡単な役割ではありません。

運動会の取組でも本番でも、団リーダーを中心に高学年が全校を引っ張ってきました。朝活動の前や休み時間、放課後には、大勢の子が係の仕事でグラウンドに出ていました。全校児童の前で見せる頼もしい姿の陰には、たくさんの準備と練習がありました。「大変だけど、やりがいがある」という経験は、自分にとっても、仲間にとっても「次の挑戦」の原動力になるのかもしれません。

10月18日の上矢作こども園・小・中学校運動会には、大勢の保護者の皆さま、地域の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。今年の運動会は、最初で最後の園小中合同運動会でした。上矢作の子ども達が一堂に会して活動する姿に、子どもの発達段階と、成長の速さを見た気がします。成長過程の大切な6年間に関わる者として、小学校には何ができるか……。子ども達のがんばりと成長に胸が熱くなるのと同時に、身の引き締まる思いのする運動会となりました。